

岩手県の 土地改良

2020(5月) No.583

■発行所／岩手県土地改良事業団体連合会 盛岡市本宮二丁目10番1号

TEL(盛岡)019(631)3200 FAX(盛岡)019(631)3260

■編集発行人／千葉 匡 ■印刷所／永代印刷株式会社

<http://www.iwatochi.com>



CONTENTS

- 岩手県土地改良事業団体連合会第62回通常総会
を開催…………… 2
- 令和元年度土地改良功労者表彰 …… 3
- 第61回全国土地改良功労者等表彰を
本県の2土地改良区、2氏が受賞…………… 3
- 用水施設の安全と豊穰の秋を願って …… 4
- 令和2年度予算の十分な配分を要請 …… 4
- 令和元年度活動状況と令和2年度活動計画を審議 …… 5
- 「水土里の路 疏水百選ウォーキングin奥寺堰」を評価 …… 5
- 土地改良区の健全な運営に向けて…………… 6
- 岩手県農林水産業表彰を平賀巖氏
(前豊沢川土地改良区理事長)が受賞…………… 7
- 令和2年度水土里ネットいわて新規採用職員 …… 7
- 令和元年度水土里ネットいわて資格取得者 …… 7
- 令和2年度水土里ネットいわて事務局体制図 …… 8

「田んぼと岩手山」 藤尾 季輝

令和元年度小中学生による「美しく豊かな村づくり」絵画コンクール中学校の部 金賞



岩手県土地改良事業団体連合会第62回通常総会を開催

ー 令和2年度事業計画、一般会計予算など8議案を承認 ー

本会は3月25日、第62回通常総会を本人出席 15会員、書面議決者 61会員の出席を頂き、開催した。今回は新型コロナウイルス感染症の拡大防止を図る観点から、出席者マスク着用等、対策を講じた上での開催となった。

開会にあたり小田島峰雄会長は、『「農業・農村のセーフティネットを目指す」を組織目標として掲げる本連合会では、災害査定への対応をはじめとした農地・農業用施設の早期復旧に尽力していく。また、農業者の要望に応え、新規地区を計画的に採択していただくためには、当初予算の確保が必要不可欠。役職員一丸となって、財務省や農林水産省をはじめとした省庁、そして県への要請活動を展開し、当初予算がしっかりと確保されるよう取組を進めていく』

と挨拶した。

議事に先立ち、永年にわたり農業農村整備の推進や土地改良区の運営に貢献された方々に対し、令和元年度土地改良功労者表彰（岩手土地連会長表彰）の授与式が行われ、11名（役員5名、職員6名）の方々が受賞された。

議事は、議長に選出された都南土地改良区の佐々木章一理事長の進行により、令和元年度補正予算、令和2年度事業計画及び予算など8議案が議決された。

最後に、計画的に農業農村整備を進めるための必要な予算の確保と、土地改良区の運営基盤の強化に対する支援などを求める決議を採択し閉会した。



【総会の様子】

決 議

- ー 国、県においては、計画的に農業農村の整備が進むよう、令和三年度当初予算において、現場のニーズに十分応えられる規模の農業農村整備事業関係予算を確保すること。特に、農地の約八割を中山間地域が占めている本県の特質に配慮し、ほ場整備に要する予算を安定的に確保すること。
- ー 担い手への農地集積や生産コストの低減、高品質・高収益作物生産の前提となる水田の大区画化・汎用化を一層推進するとともに、中山間地域等において、農業経営の持続的発展に向けて、地域特性を踏まえたほ場整備の推進が図られるよう十分配慮すること。
- ー 農村地域の国土強靱化に資するよう、老朽化した農業水利施設の長寿命化及び豪雨・耐震化対策等をより一層推進すること。特に、令和三年度以降の防災・減災、国土強靱化に要する予算を安定的に確保すること。
- ー 農業用ため池の整備を強力に推進するため、必要となる技術的、財政的な支援策を講じること。
- ー 昨年四月に施行された改正土地改良法への円滑な対応に向け、土地改良区の意見を十分踏まえつつ、複式簿記の導入など土地改良区の運営基盤強化に対する支援を推進すること。
- ー 多面的機能支払制度の推進に当たっては、推進協議会や土地改良区がこれまで培った技術、経験など持てる能力を十分に発揮し、制度の効率的・効果的な推進に貢献できるよう、施設の長寿命化に向けた予算を十分に確保すること。
- ー 農業用ダムの洪水調節機能の強化に当たっては、ダム管理者及び関係利水者の過度な負担とならない取組とするとともに、必要な措置を講ずること。

令和2年3月25日 岩手県土地改良事業団体連合会 第62回通常総会
「農業・農村のセーフティネットを目指す」

— 令和元年度土地改良功労者表彰 —

●役員の部

氏 名	所 属	役 職 名
藤 原 弘 也	鹿 妻 穴 堰 土 地 改 良 区	理事
継 枝 孝 夫	大 迫 町 土 地 改 良 区	前総括監事
青 山 喜 八	大 迫 町 土 地 改 良 区	前理事
小 山 武	藤 沢 土 地 改 良 区	第一理事
高 村 重 光	二 戸 市 土 地 改 良 区	会計総括担当理事

●職員等の部

氏 名	所 属	役 職 名
平 澤 正 成	山 王 海 土 地 改 良 区	管理課事業係長
戸 来 美 幸	豊 沢 川 土 地 改 良 区	業務課長補佐兼ダム係長
高 橋 満	岩 手 中 部 土 地 改 良 区	総務課会計係長兼会計主任
齋 藤 久 雄	岩 手 中 部 土 地 改 良 区	事業課調査計画係長
新 田 寿 一	久 慈 市 土 地 改 良 区	事務局長
石 岡 崇	岩手県土地改良事業団体連合会	農村振興部農村整備第一課長補佐



【土地改良功労者と小田島会長（中央）表彰受賞者】

第61回全国土地改良功労者等表彰を本県の2土地改良区、2氏が受賞

第61回全国土地改良功労者等表彰（主催：全国土地改良事業団体連合会）において、本県の金流川沿岸涌津土地改良区と山田町土地改良区が団体表彰、田山清前本会専務理事と高橋義也岩手中部土地改良区事業課長が個人表彰を受賞した。

●団体表彰

表 彰 区 分	団 体 名	備 考
金	金流川沿岸涌津土地改良区	
銀	山 田 町 土 地 改 良 区	

●個人表彰

表 彰 区 分	個 人 名（ 敬 称 略 ）	備 考
個人（役員の部）	田 山 清	岩手県土地改良事業団体連合会前専務理事
個人（職員の部）	高 橋 義 也	岩手中部土地改良区事業課長

用水施設の安全と豊穡の秋を願って

— 胆沢平野土地改良区、猿ヶ石北部土地改良区、照井土地改良区が安全祈願祭を開催 —

4月21日、胆沢平野土地改良区（及川正和理事長）では、奥州市胆沢若柳の徳水園において放水式を開催した。この放水式によって、管内9,200ha余の農地に新たな息吹が吹き込まれた。



【放水された円筒分土工（胆沢平野土地改良区）】

また、4月24日には、猿ヶ石北部土地改良区（小田島峰雄理事長）が、花巻市東和町内の稗和東部取入斜樋管理事務所において、田瀬ダム農業用水取水安全祈願祭を、照井土地改良区（小野寺道雄理事長）では、一関市巖美町の照井水神御前において、安全通水祈願祭をそれぞれ開催した。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染

拡大を防止するため、来賓は招かず土地改良区関係者のみで神事を執り行い、用水施設の安全と農作物の豊穡を祈念し、玉串を奉奠した。



【神事の様子（猿ヶ石北部土地改良区）】



【神事の様子（照井土地改良区）】

令和2年度予算の十分な配分を要請

— 岩手県と合同で農林水産省へ要請 —

本会は、1月28日に小田島峰雄会長、大宮惇幸副会長、小野寺道雄副会長が、県の上田幹也農林水産部長、伊藤啓治農村整備担当技監、三河孝司農村計画課総括課長とともに、農林水産省 牧元 幸司 農村振興局長、奥田 透 農村振興局次長、安部 伸治 整備部長と面会し、「農業農村整備の着実な推進に関する要請」として「令和2年度当初予算及び令和元年度補正予算の本県への配分」について要請した。

要望に対し、牧元局長からは「皆様からの力強い応援のおかげで当初予算と補正予算を合せて6,500億円を超える予算を確保することができた。高収益作物にチャレンジをするうえでほ場整備は不可欠。予算を有効に活用して整備を進めてほしい」と回答された。

奥田次長からは「皆様からのご支援のおかげで、令和2年度予算について、令和元年度を上回る概算決定を行うことができた。令和3年度

についても、総力を挙げて予算確保を取組んでいく」と述べられた。

また、安部部長からは「農家所得向上に向けて、高収益作物の導入に必要なほ場整備を着実に進めて頂きたい」とコメントされた。



【牧元局長（左から4人目）に要請書を手渡す上田農林水産部長（左から3人目）と小田島本会会長（左から5人目）】

令和元年度活動状況と令和2年度活動計画を審議 — 岩手県議会農業農村整備推進議員クラブ通常総会・研究会を開催 —

岩手県議会農業農村整備推進議員クラブ（高橋はじめ 会長、会員全議員48名）は、2月26日に県議会大会議室で令和元年度通常総会・研究会を、全会員出席のもとに開催した。

総会の冒頭、挨拶にたった高橋会長は「本県農業を推進するうえで、グローバルな視点にたつて政策を進めていく必要がある。そのような中、担い手への農地集積など課題を解決するとともに、次世代の農業、農村のためにも基盤整備を進めなければならない」と述べた。



【挨拶を述べる高橋 会長】

次に、当クラブ事務局である本会の小田島峰雄会長から「日頃より農業農村振興へのご理解とご尽力に感謝申し上げます。ほ場整備など土地



【挨拶する小田島峰雄 本会会長】

改良事業の要望が非常に多くなっており、本会としても本県の農業農村のために、全力で取り組んで参りたい」と挨拶した。

続いて、来賓の関根敏伸県議会議長、上田幹也農林水産部長から祝辞が述べられた。

総会では令和元年度事業報告と収支決算並びに令和2年度活動計画と収支予算が議決された。総会後の研究会では、伊藤啓治県農林水産部農村整備担当技監から「本県農業農村整備事業の取組状況」と題して本県の農業農村整備の展開方向や重点施策と、令和2年度の農業農村整備事業予算の状況について、講演いただいた。

「水土里の路 疏水百選ウォーキングin奥寺堰」を評価 — 岩手中部土地改良区が第29回農業農村整備事業広報大賞を受賞 —

2月20日、東京都科学技術館サイエンスホールにおいて、全国農村振興技術連盟主催の令和元年度東京フォーラム（農村振興研修会）が開催され、「水土里の路 疏水百選ウォーキングin奥寺堰」大会実行委員会（岩手中部土地改良区）が最高賞の「広報大賞」を受賞した。



【表彰される及川哲朗 岩手中部土地改良区理事長】

この表彰は、農村振興の重要性や社会意義について、国民一般から広く理解を得るための地域活動や広報活動を行ったものの中から、その成果が特に優れていると認められる団体等を同

連盟表彰規程により毎年表彰しているもので、今年度は広報大賞2団体、優秀賞等11団体が表彰された。

この大会は、農業用水の役割や重要性及びその歴史的背景などの認識を深めてもらうことを目的としてウォーキング大会を実施。活動は平成19年度から継続して開催されており、市民に親しまれ誰でも気軽に参加出来る大会に成長している点が特に高く評価された。



【受賞者らによる記念撮影
（前列右から2番目が及川理事長）】

土地改良区の健全な運営に向けて

— 令和元年度水土里ネット役員研修会を開催 —

本会は、1月30日から31日、盛岡市つなぎ温泉「ホテル紫苑」において『令和元年度水土里ネット役員研修会』を開催した。

研修会には、伊藤啓治 岩手県農林水産部担当技監、三河孝司 同農村計画課総括課長、千葉和彦 同農村建設課総括課長を来賓に迎え、土地改良区役職員等288名が出席した。

開会にあたり、小田島峰雄 本会会長が「令和2年度の農業農村整備関係予算は、令和元年度補正分と令和2年度当初予算分を合わせ、昨年度を上回る6,515億円が概算決定された。こうした土地改良への追い風は、事業が国の重要施策の一つであることは勿論のこと、昨年の参議院選挙において、“農村振興に向け我々の声を中央に届けたい”という皆様の熱意により宮崎雅夫参議院議員が誕生し、進藤金日子参議院議員と共に、国政の場で活躍していることも大きな要因であると考えている。また、達増知事をはじめ岩手県で当局や、岩手県議会議員の皆様の農業農村整備事業へのご理解あつてのことであり、あらためて深く感謝するとともに、引き続きご支援をお願いしたい」と挨拶した。



【主催者挨拶する小田島 本会会長】

研修1日目は、伊藤啓治 県農林水産部農村整備担当技監が『岩手県の農業農村整備におけるドローンの活用について』と題し、本県における活用事例や今後の農業用施設管理への活用などについて説明した。

次に進藤金日子 参議院議員（都道府県土地



【講演する伊藤 農村整備担当技監】

改良事業団体連合会会長会議顧問）からのビデオメッセージが上映された。

その後、今泉元伸県農林水産部農業振興課担い手対策課長が『地域農業マスタープランの実質化・実践の推進について』と題し、県内におけるマスタープランの必要性と、取組事例を講演した。

2日目は、市村和寿 全国土地改良事業団体連合会支援部長が『土地改良区は組合員のために』と題し、土地改良区は組合員へのサービス提供機関であることや、“組合員は土地改良区に何を求めているのか”など組合員の視点に立った対応の重要性を講演した。



【講演する市村 全土連支援部長】

この他、気象予報士の河津真人氏が『昨今の気象と災害』について、フリーアナウンサーの名越涼氏が『全国で活躍する農業者たち』について、それぞれ講演した。

出席者は、様々な分野の講義を聴講し見識を深めていた。



【研修会の様子】

岩手県農林水産業表彰を平賀巖氏（前豊沢川土地改良区理事長）が受賞 — 令和元年度いわて農林水産躍進大会において —

12月20日に盛岡市民文化ホールにおいて、『令和元年度いわて農林水産躍進大会』（主催：いわて農林水産振興協議会、岩手県）が開催された。大会では、「岩手県農林水産業表彰」、「岩手県アドプト活動モデル賞」及び「岩手県

農地・水環境保全向上活動モデル賞」等の表彰が行われ、県内各地から参集した関係者約900名から受賞者へ盛大な拍手が送られた。

なお、土地改良に関連する受賞者は以下のとおり。



【岩手県農林水産業表彰を受賞した平賀巖前豊沢川土地改良区理事長】

○岩手県農林水産業表彰

受賞者	備考
平賀 巖	前豊沢川土地改良区理事長

○岩手県アドプト活動モデル賞

受賞団体	市町村
(実施団体) 十二丁目堰愛護組合 (協定団体) 豊沢川土地改良区	花巻市
(実施団体) 砂子自治会 (協定団体) 猿ヶ石北部土地改良区	花巻市

○岩手県農地・水環境保全向上活動モデル賞

受賞団体	市町村
岩沢・農地・水結いの会	北上市
農地・水保全管理門崎活動組織	一関市
安代地域多面的機能保全組織	八幡平市

— 令和2年度水土里ネットいわて新規採用職員 —



榎本 利憲
(えのもと としのり)
農村振興部農村
整備第二課技師



千葉 満
(ちば みつる)
換地部換地課
嘱託

— 令和元年度水土里ネットいわて資格取得者 —

○土地改良換地士



【野崎 雅敬】

○測量士



【山澤 悟】

○農業土木技術管理士



【草野 一人】

令和2年度 水土里ネットいわて事務局体制図

ほ場整備事業の採択地区の増加に伴う換地業務の増加、及び、終期を迎えるほ場整備地区の確定測量業務の増加が見込まれることから、換地部を新たに設け県や会員の依頼に応えられるよう体制を強化しました。

